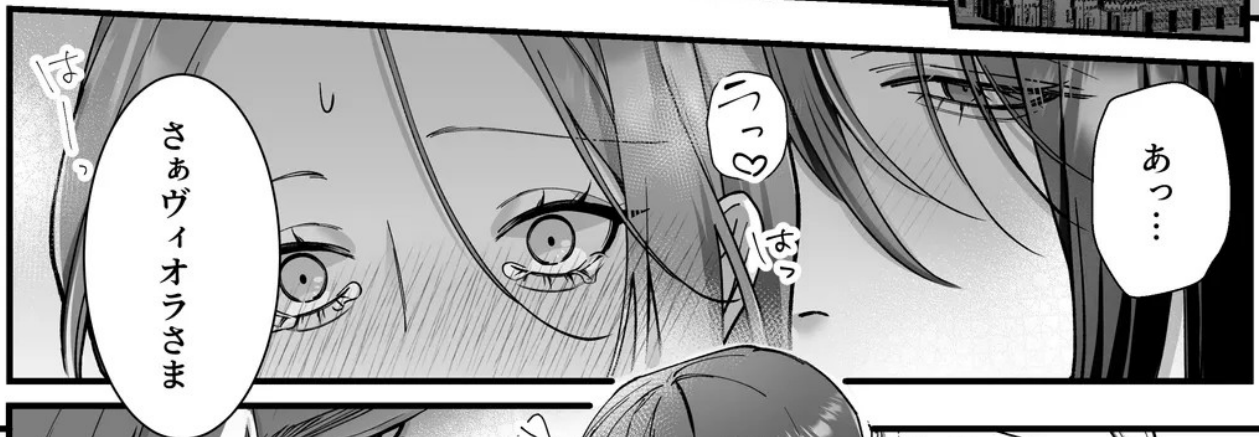
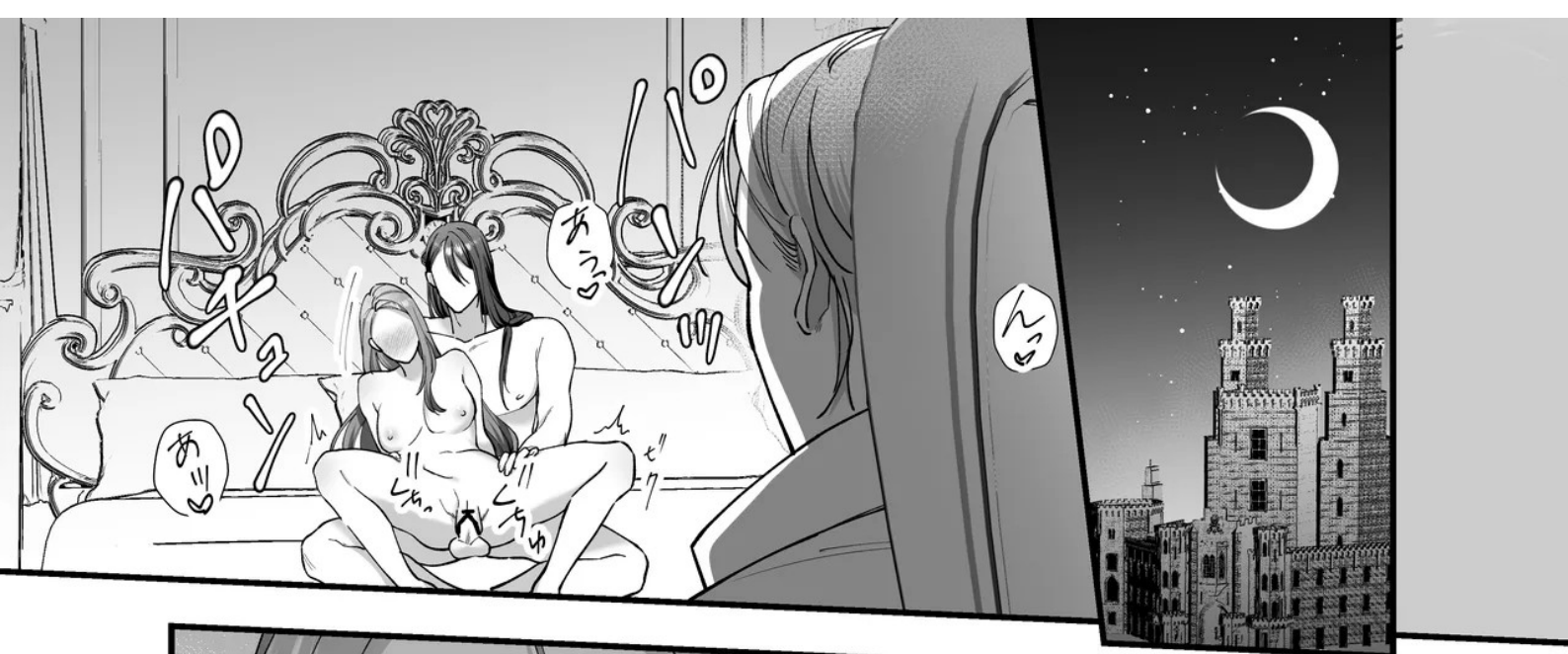




おとこは驕け係と 悪役令嬢

～驕け係最後の調教!?!～



さあヴィオラさま

あっ…

あなたの
恥ずかしい姿を…
今日も
ファイリス王に
しっかりと見て
いただくのですよ

あんっ…

は、はいっ…

あっ



あ

ほらどこを
見ていただくの
ですか？

わたし
のいやらしい
おまんこ
ですうっ…♡

ああ♡

たん♡



んっ

もっと…
わたしを…
見てくださいますっ…

フィリスさまっ…

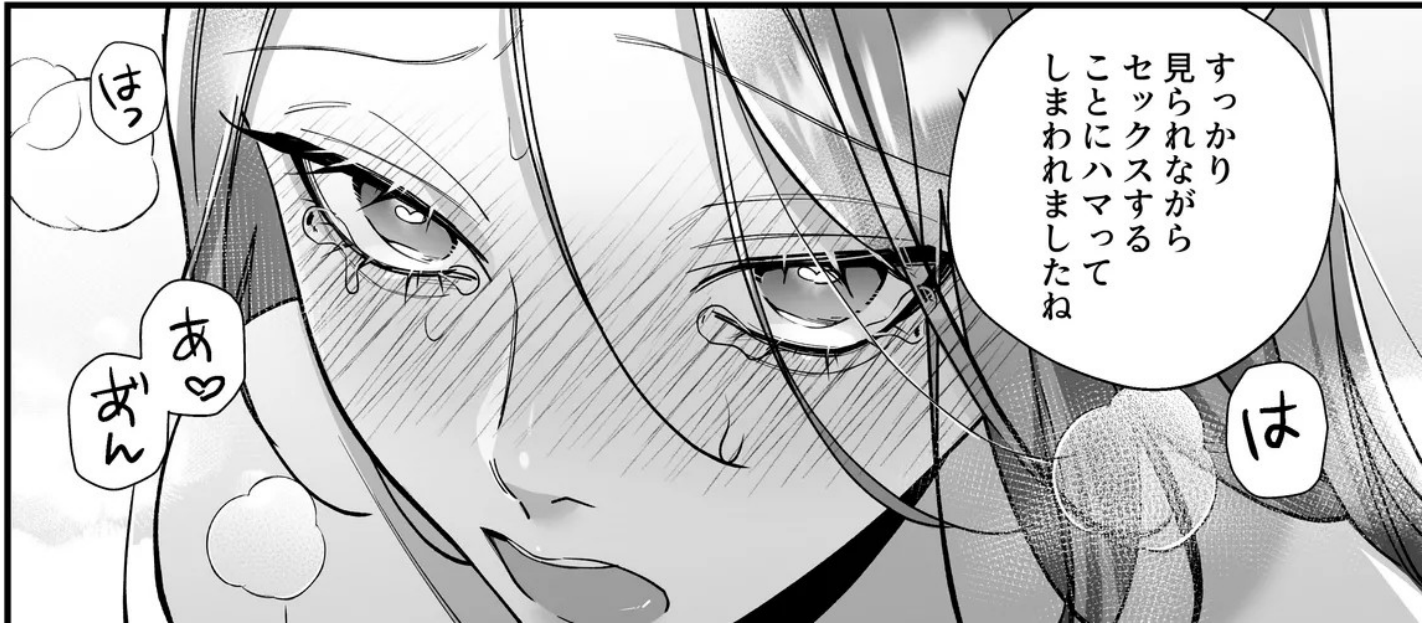
あっ…

んっ

んっ

んっ

んっ



はっ

あ♡

あん

すっかり
見られながら
セックスする
ことにハマって
しまわれましたね

は

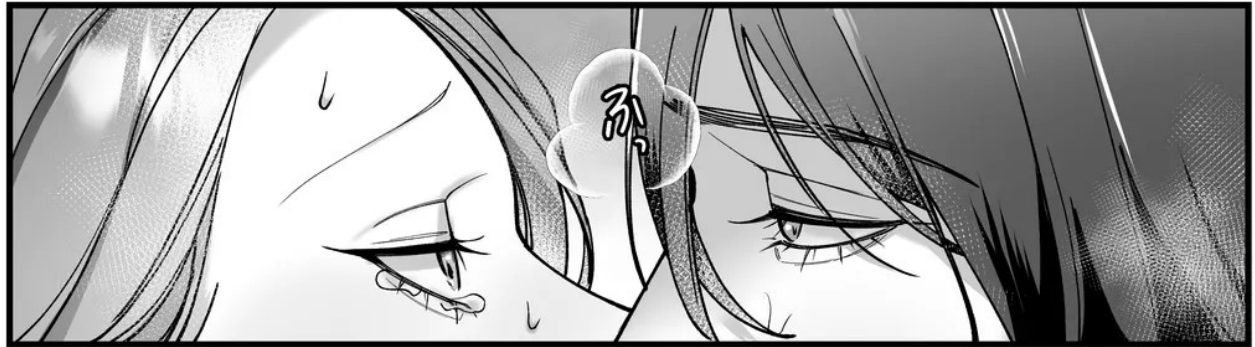
だって：
私の旦那さまは
フィリスさまなのに
フィリスさまに
見られながら
グレインと
エッチしてる
なんて！

グレインのせいよ
こんな…
いけないことなのに

あっ♡
だめっ♡

私ー

グレインっ♡
わたしもうっ…♡

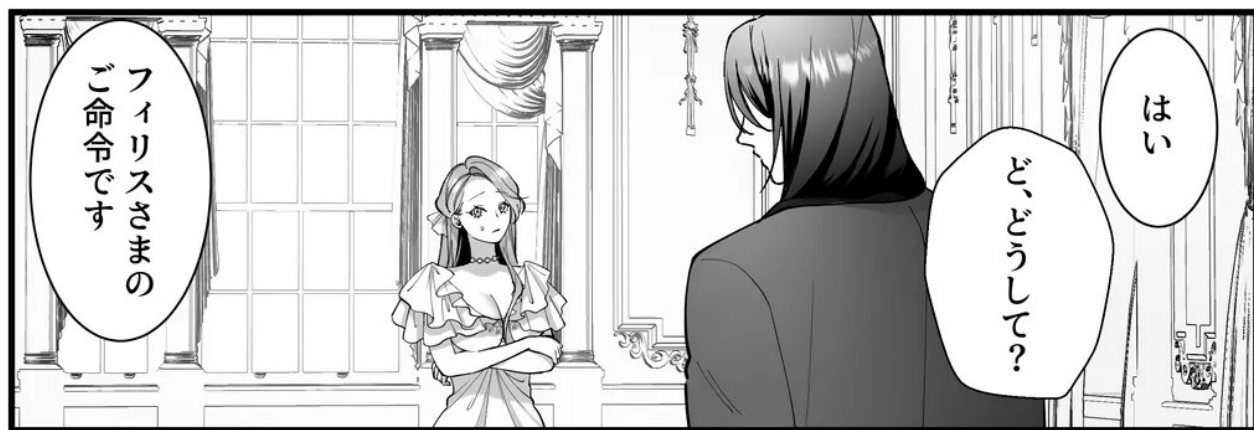




グレインに…
婚約者？



……え



はい

ど、どうして？

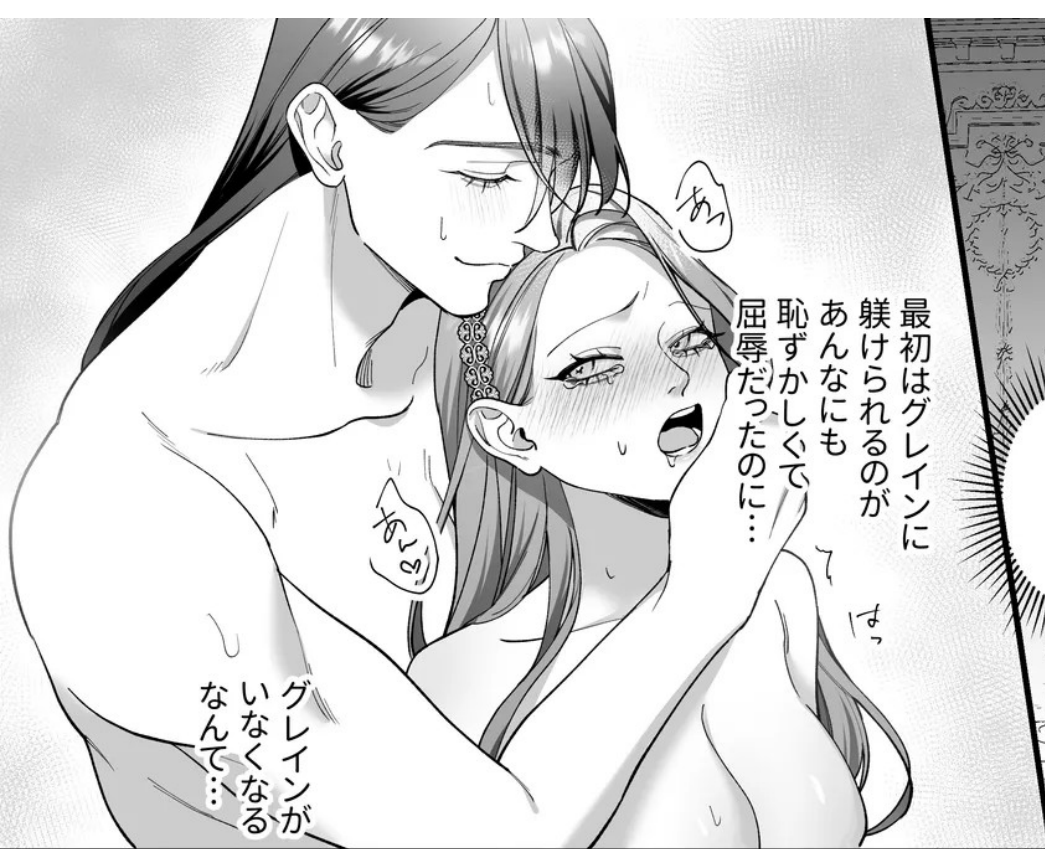
フィリスさまの
ご命令です



な……！

そして…
結婚とともに

ヴィオラさまの
しつけ係を
外れるようにと



グレインが
いなくなる
なんて...



そのような顔を
しているようでは
まだ嫉が必要な
ようですね

早く私から
卒業して
くだらないと
困ります



最後…

今日は…
なにをするの？



今日は…
私からの
最後の躰ですよ



フフ

フィリスさまは
あなたがいつまでも
受け身であることが
気がかりだと
仰っております

ですので
今日は
その訓練です



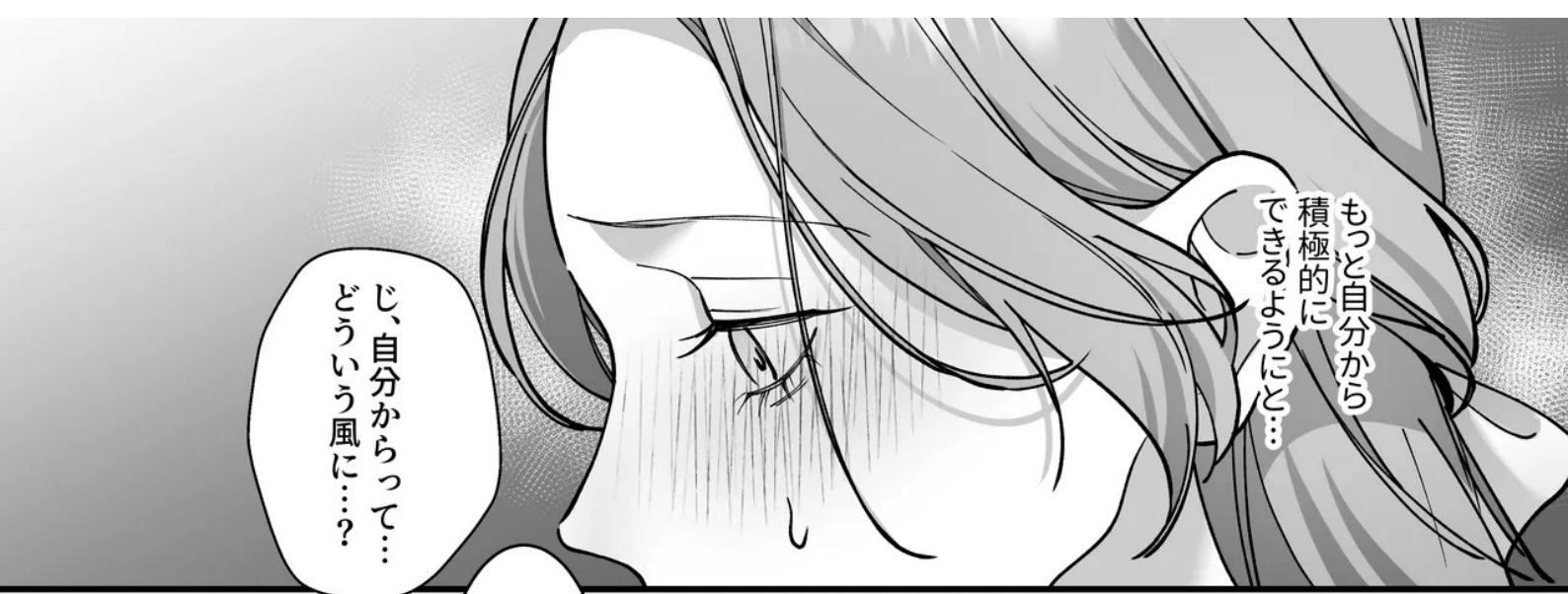
う…

ぽん

ぽん

グレインっ…
これ…
恥ずかしいっ…

アッ
アッ
アッ



もつと自分から
積極的に
できるんじゃないか...

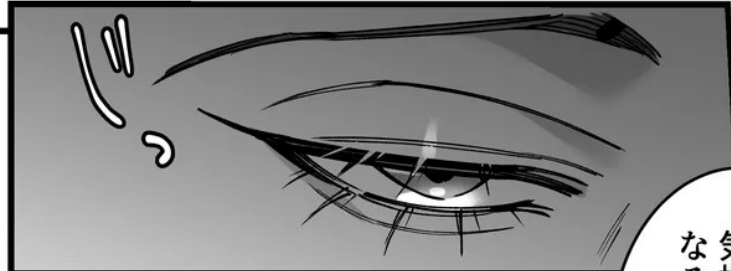
じ、自分からって...
どういう風に...?



そうですね...
まずは

一人でやって
いただきますしう

えっ?



私によく
見えるように
ご自分の手で
気持ちよく
なるのです

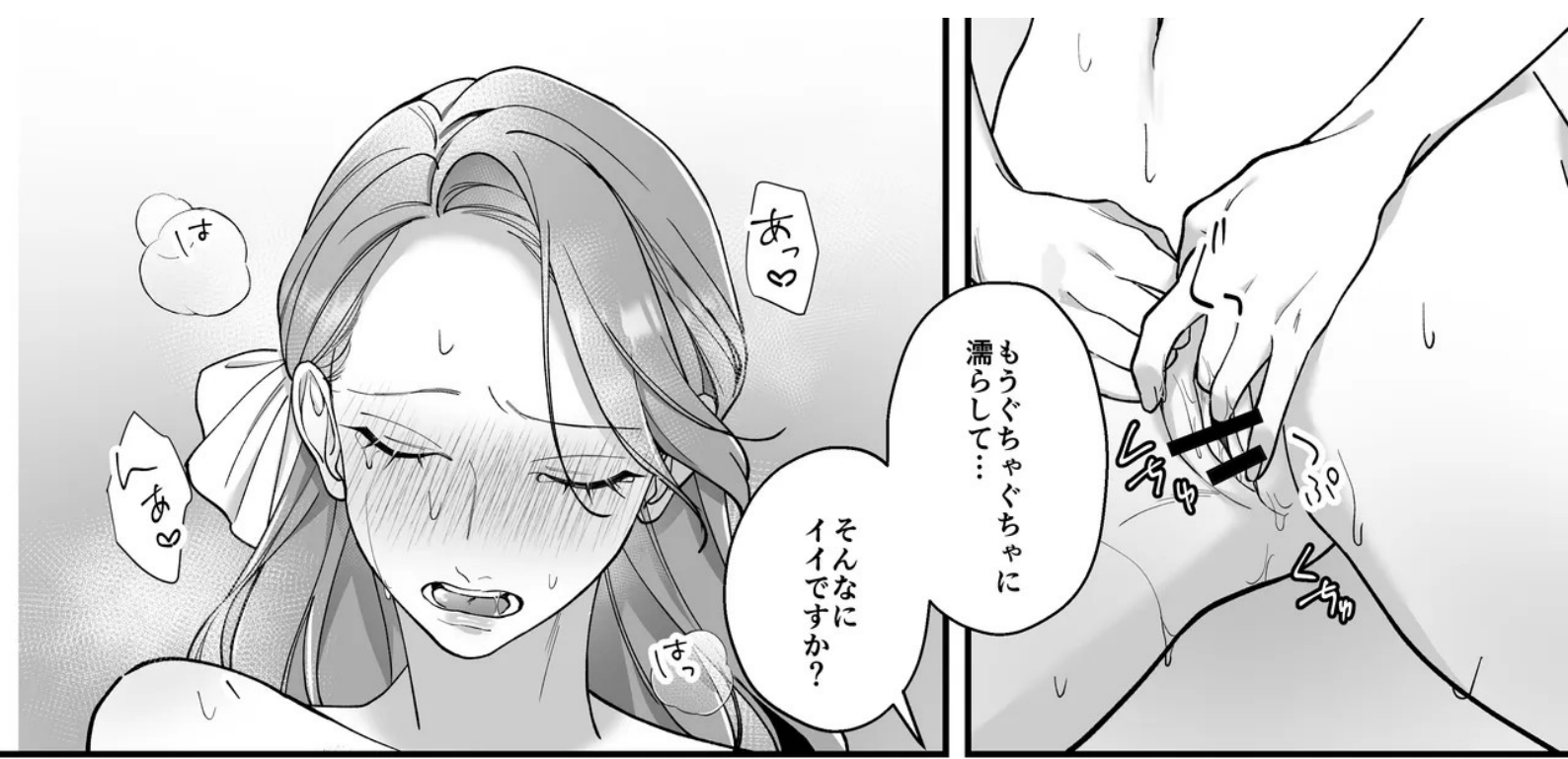


できますね?



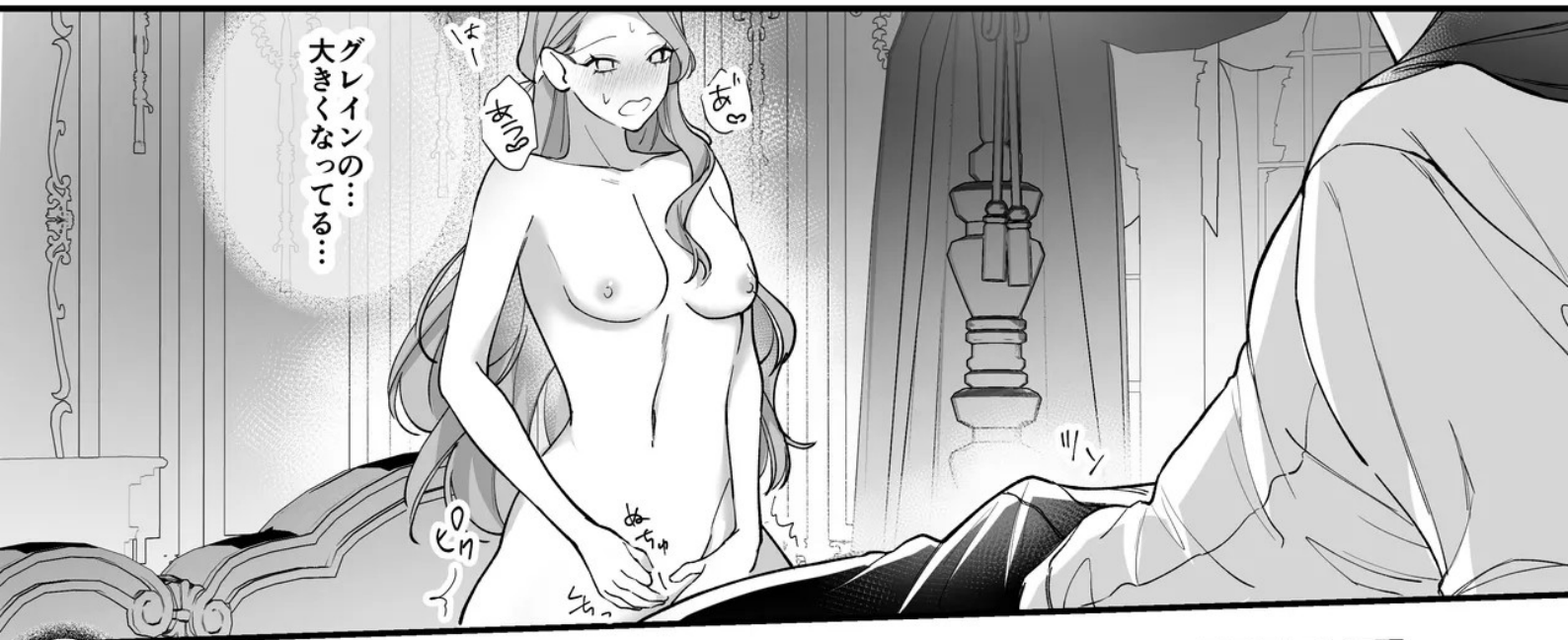
カクッ

し
く
す

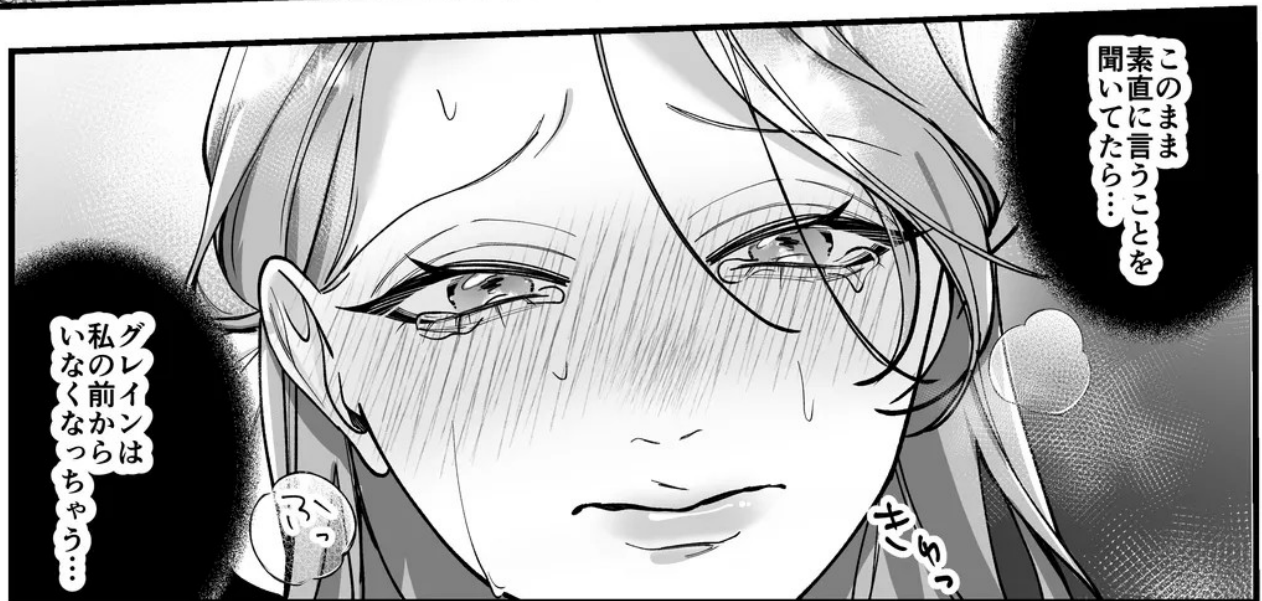


もうぐちゃぐちゃに濡らして…

そんなにイイですか？

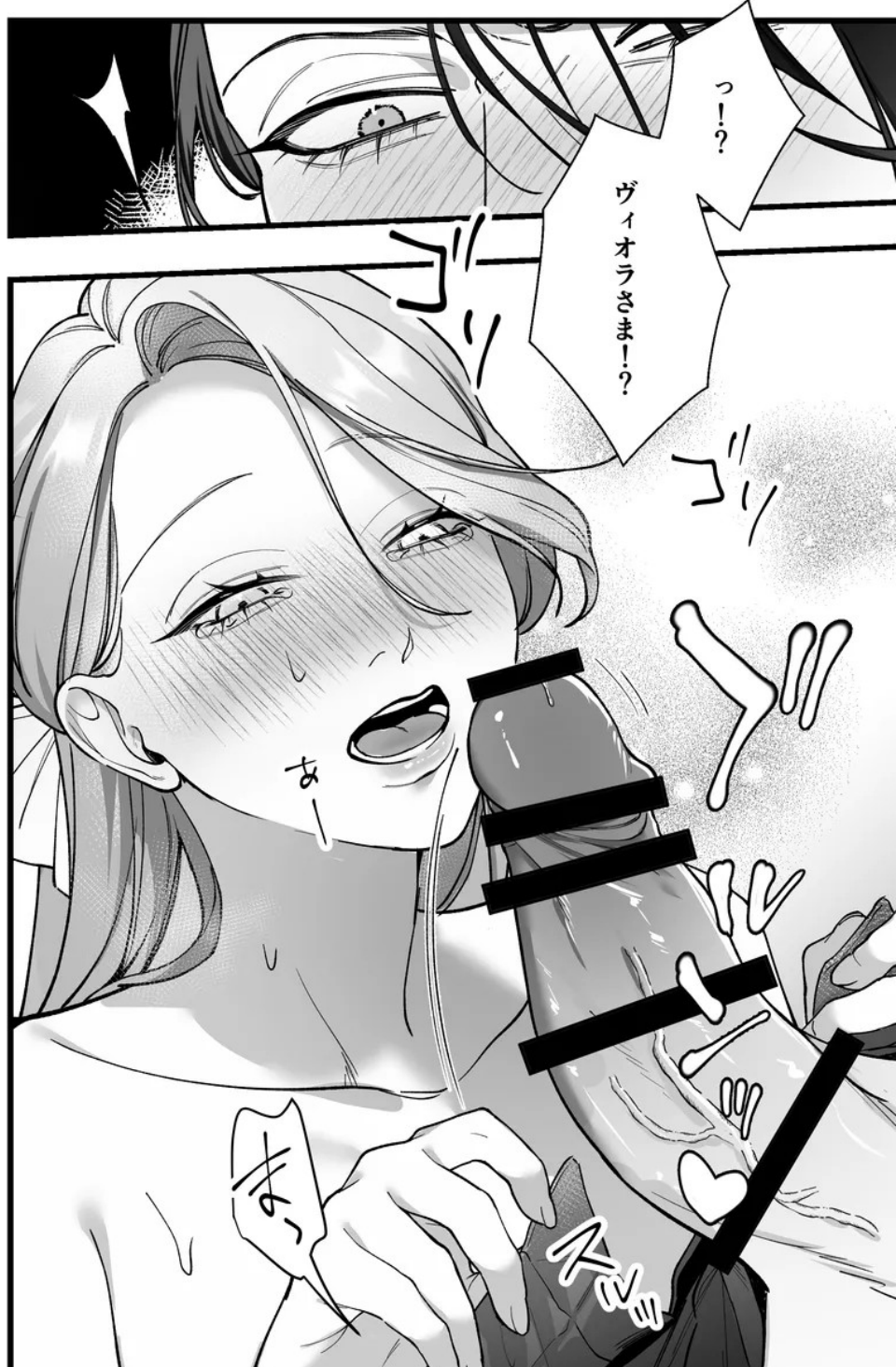
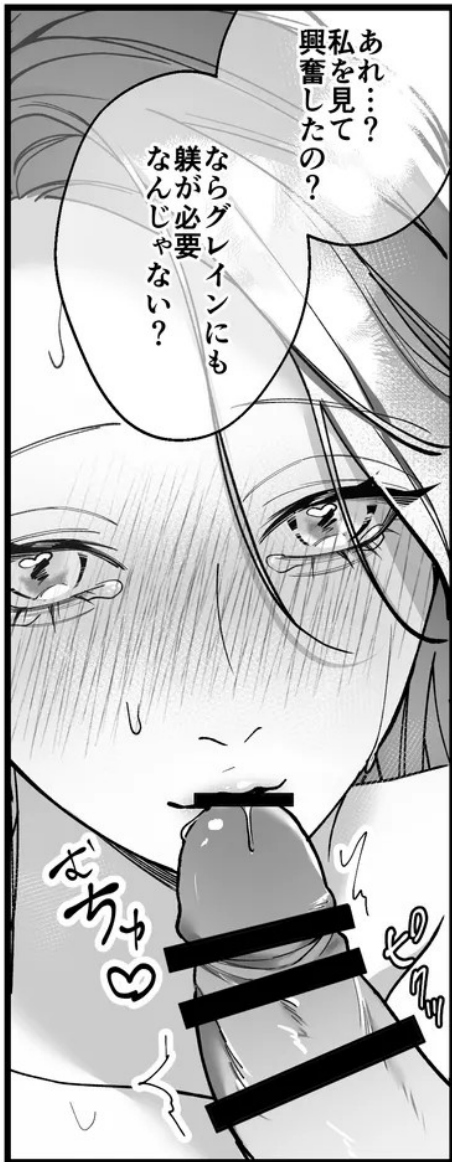


グレインのの…
大きくなってる…



このまま素直に言うことを聞いてたら…

グレインは私の前からいなくなっちゃう…





ヴィオラさま
なにを...

私...
まだグレインと
離れたくない!

あ

アッ

はっ

アッ

あ

あ



っ...!

あ...♡

グレインのおちんちんの
奥まで入ったあ...♡

んああっ♡

あ

あ



はっ

っ…
いつたいつの間に
覚えたんですか？



は

グレインっ…
気持ちいい？

ここのうの
すきっ？

はっ

はっ

はっ

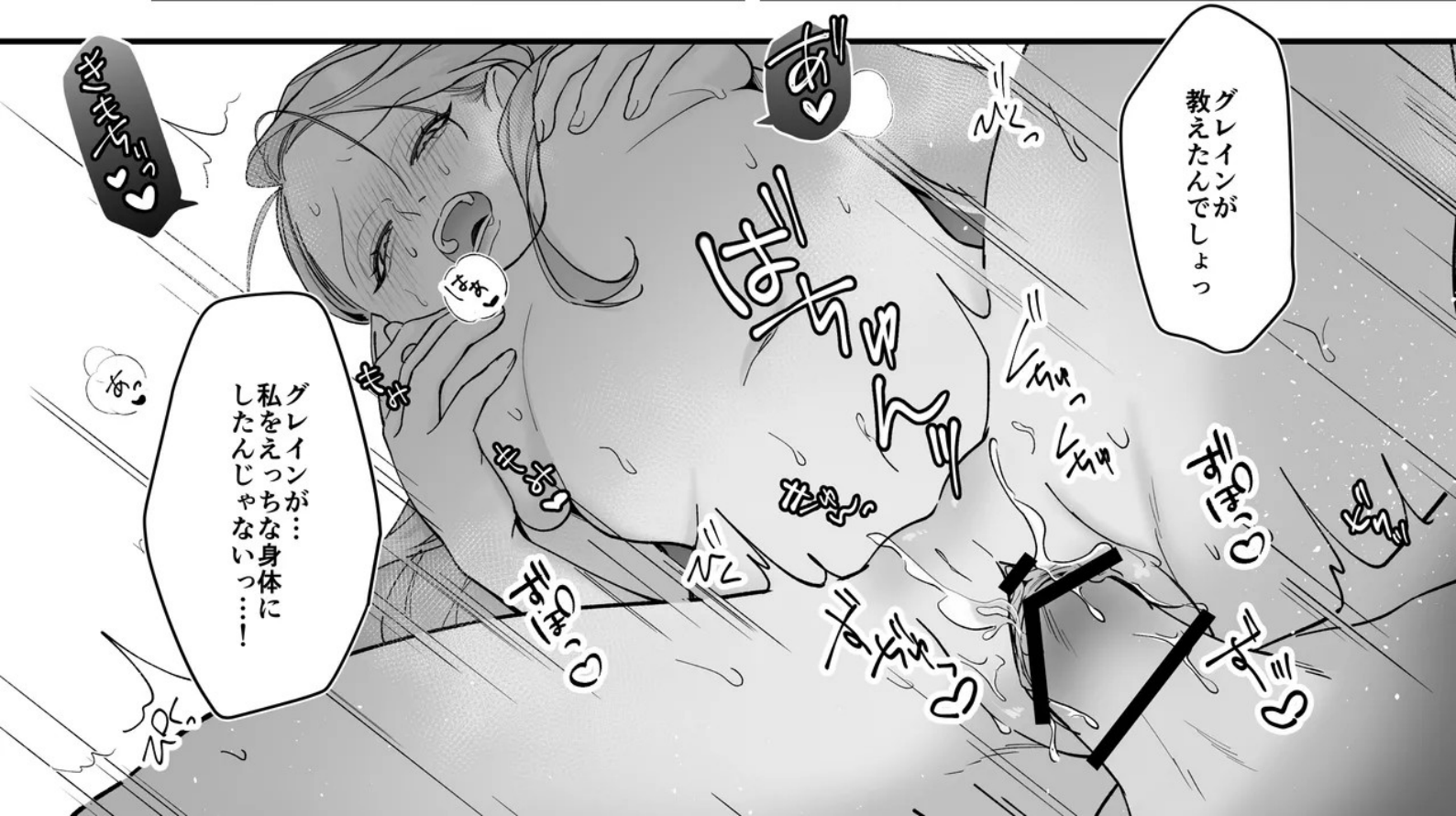
はっ

はっ

はっ

はっ

はっ



はっ

はっ

グレインがしよっ
教えたんでしよっ

グレインが…
私をえっちな身体に
したんじゃないっ…！

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

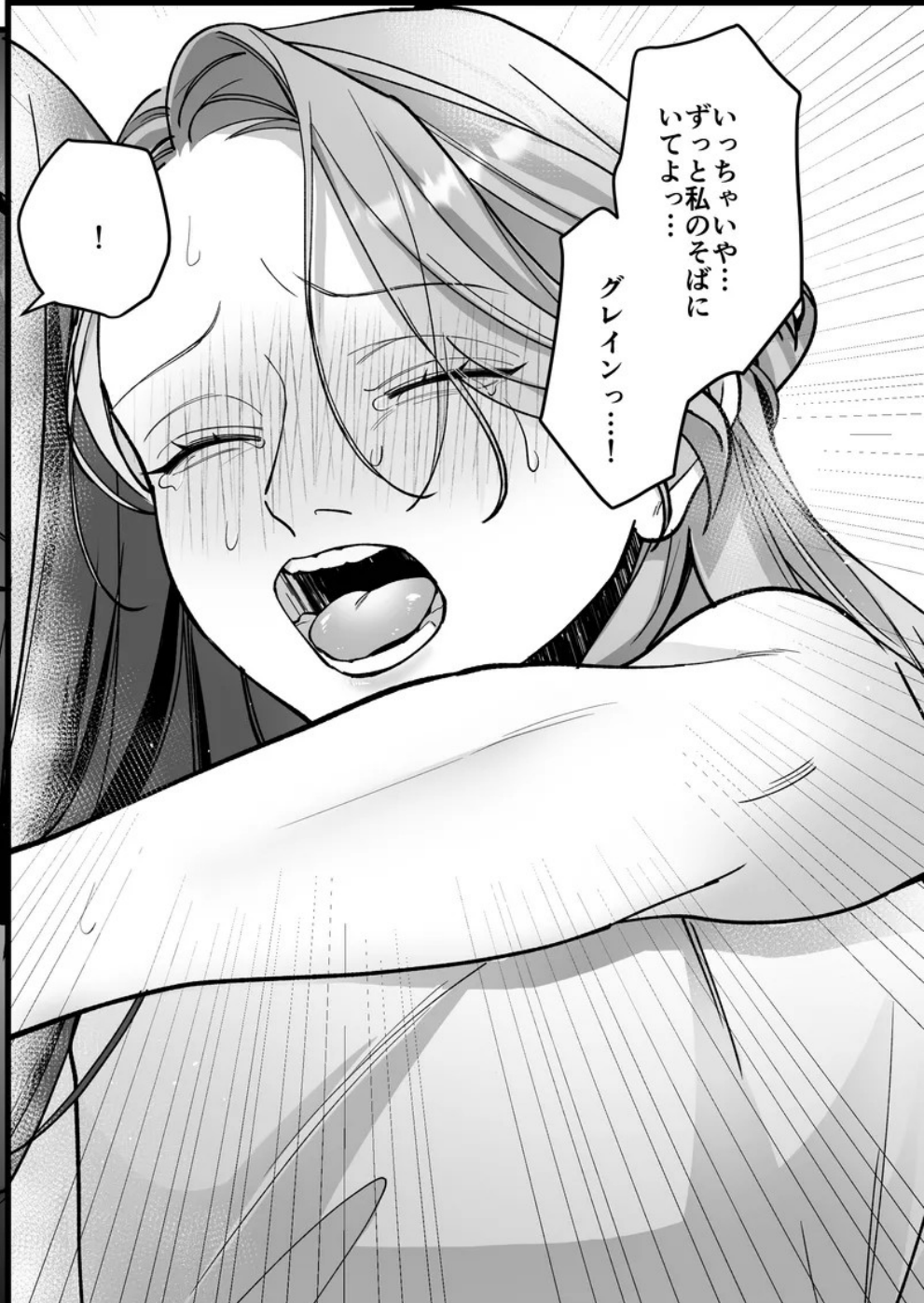
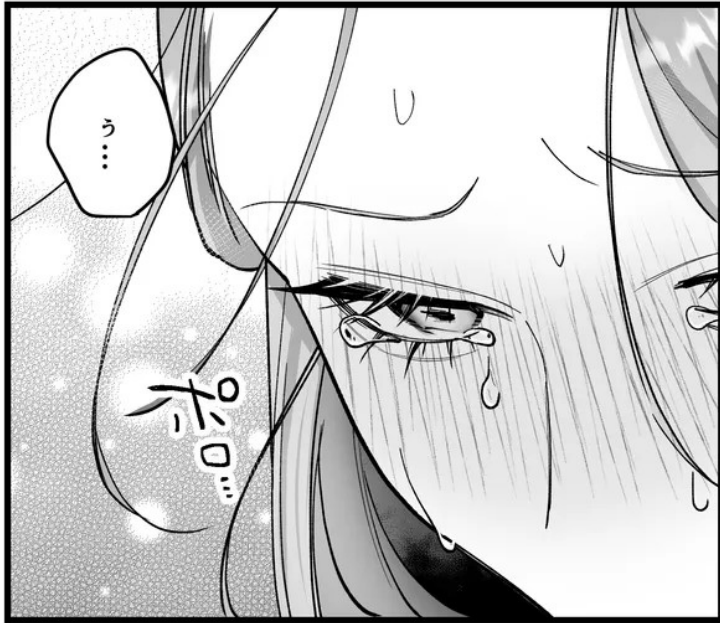
はっ

はっ

はっ

はっ

はっ



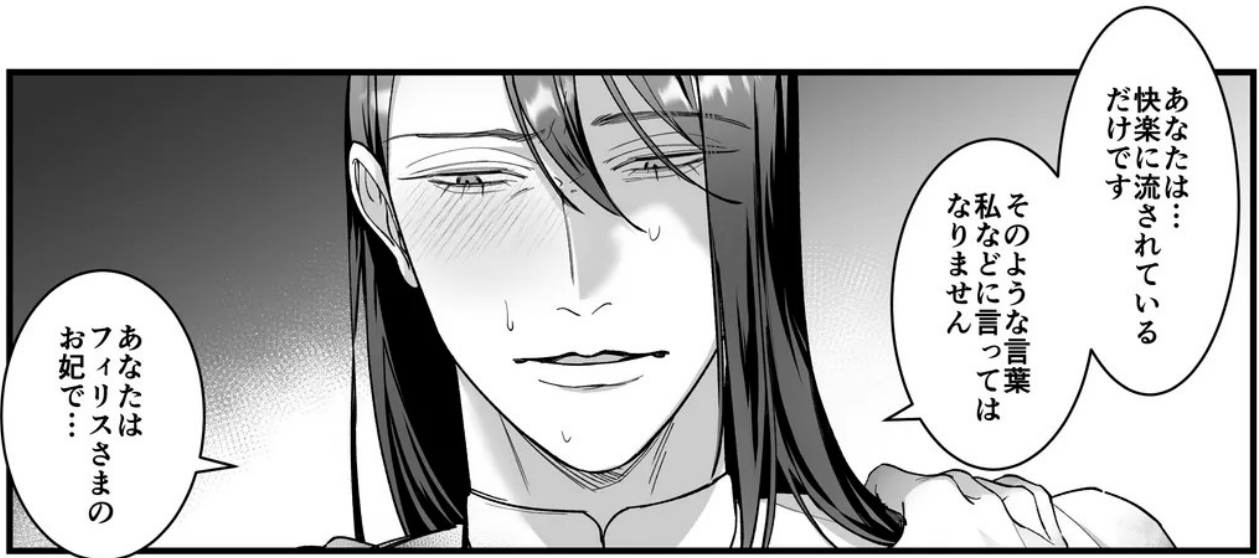


グレインが
他の人を抱くなんて
考えたくない



グレインっ…
好き…
好きなのっ…

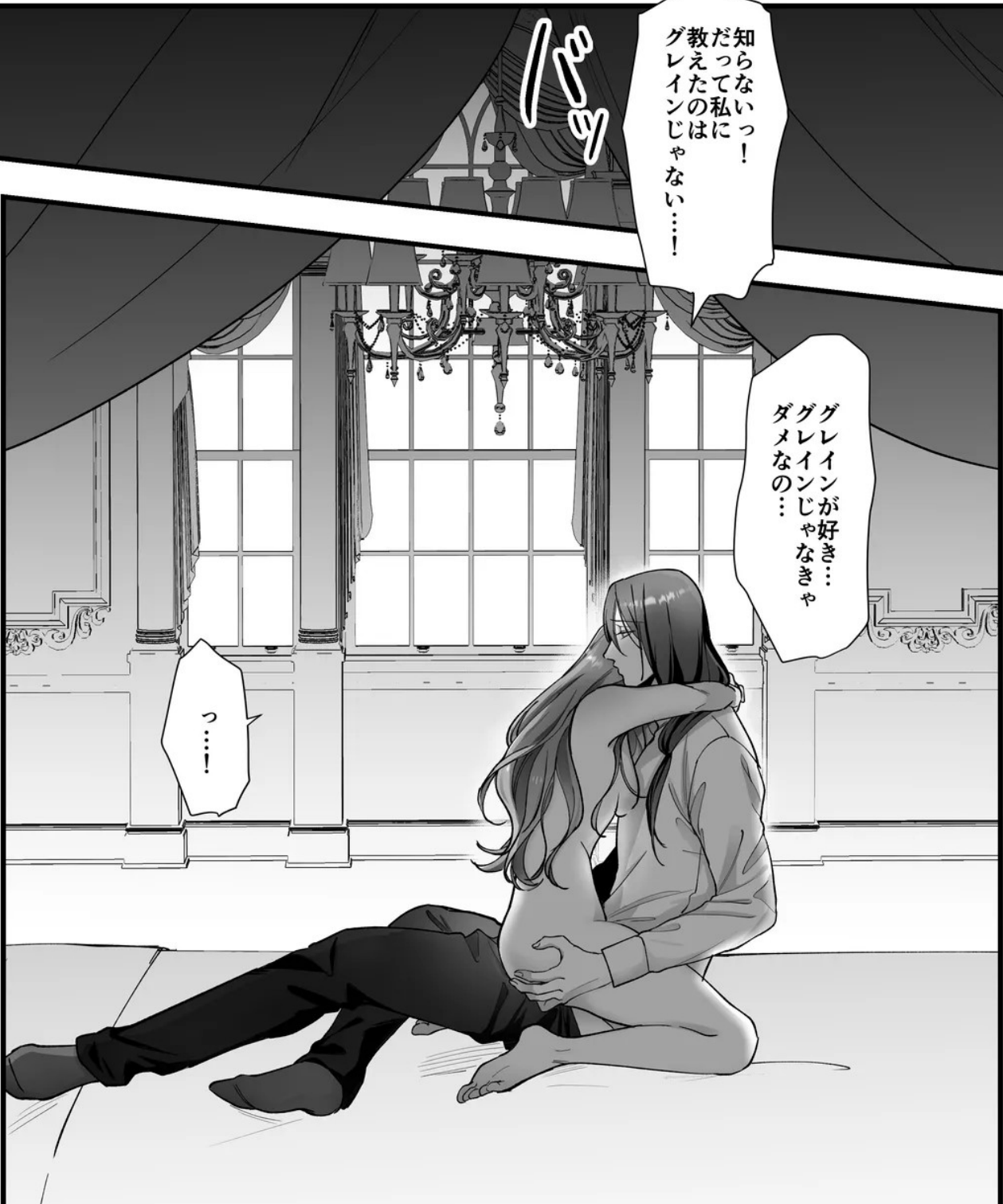
私の側にいて
ずっと私だけの
教育係でいて…!



あなたは…
快楽に流されている
だけです

そのような言葉
私などに言っては
なりません

あなたは
フィリスさまの
お妃で…



知らないっ！
だって私に
教えたのは
グレインじゃ
ない…！

グレインが好き…
グレインじゃ
なきや
ダメなの…

…！



私も…
ヴィオラさまの
ことが…



らやあっ♡

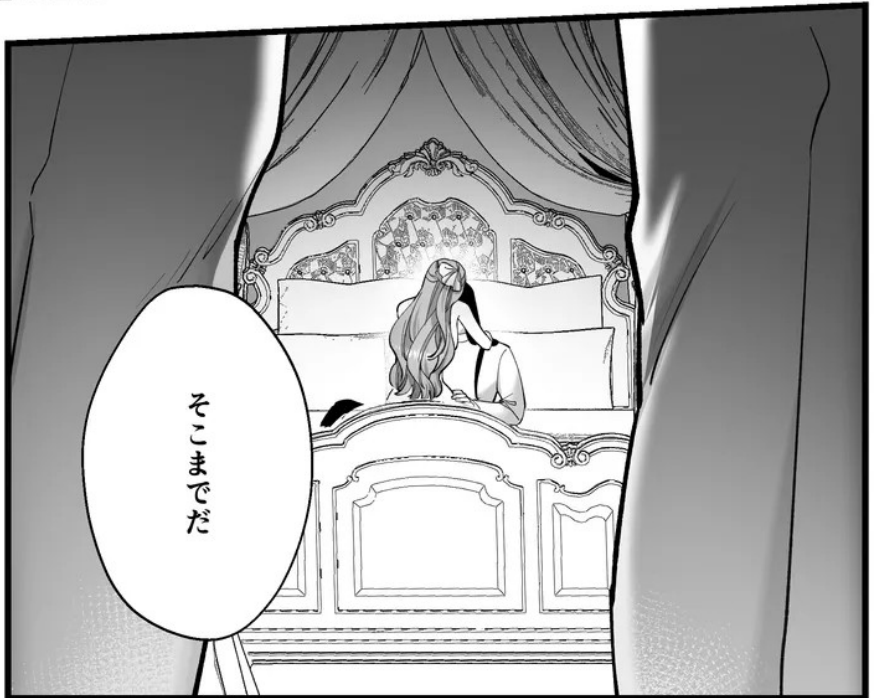
あっ

はっ

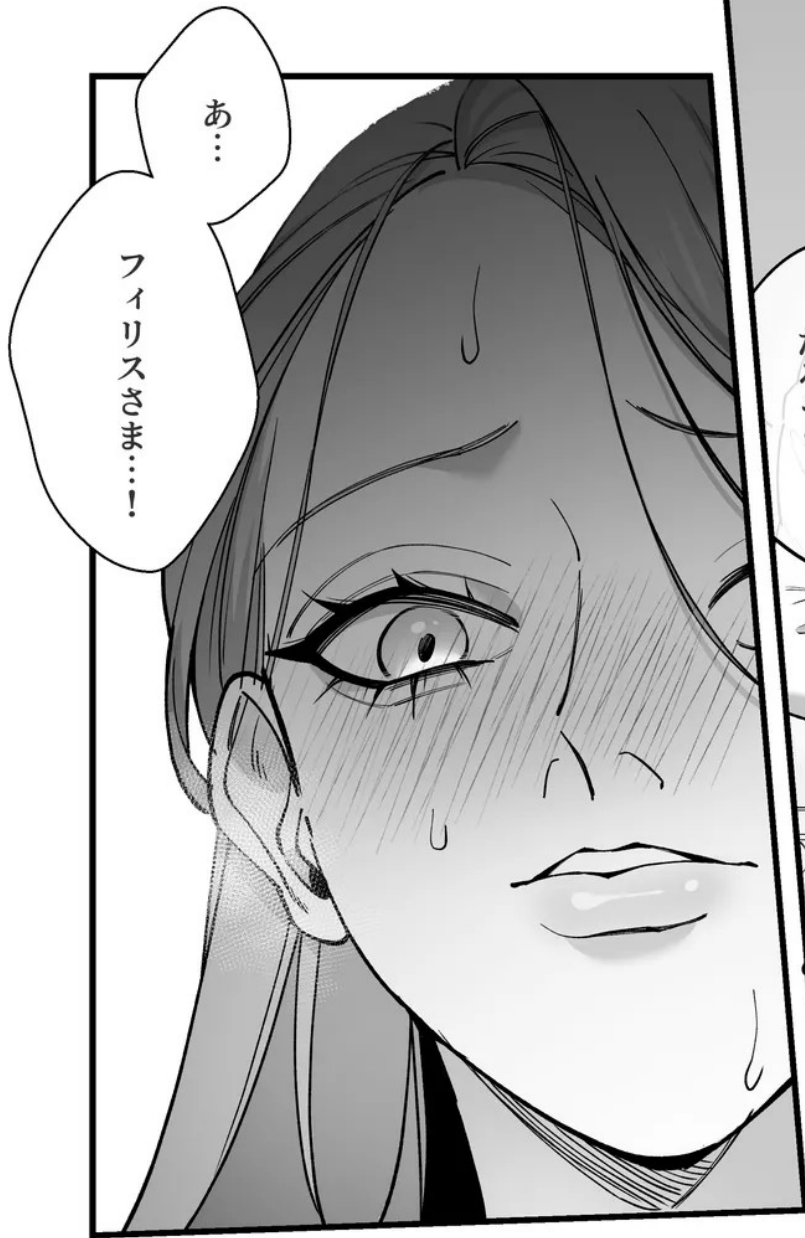
すっ

あっ

私じゃなきや
嫌だと…?



そこまでだ



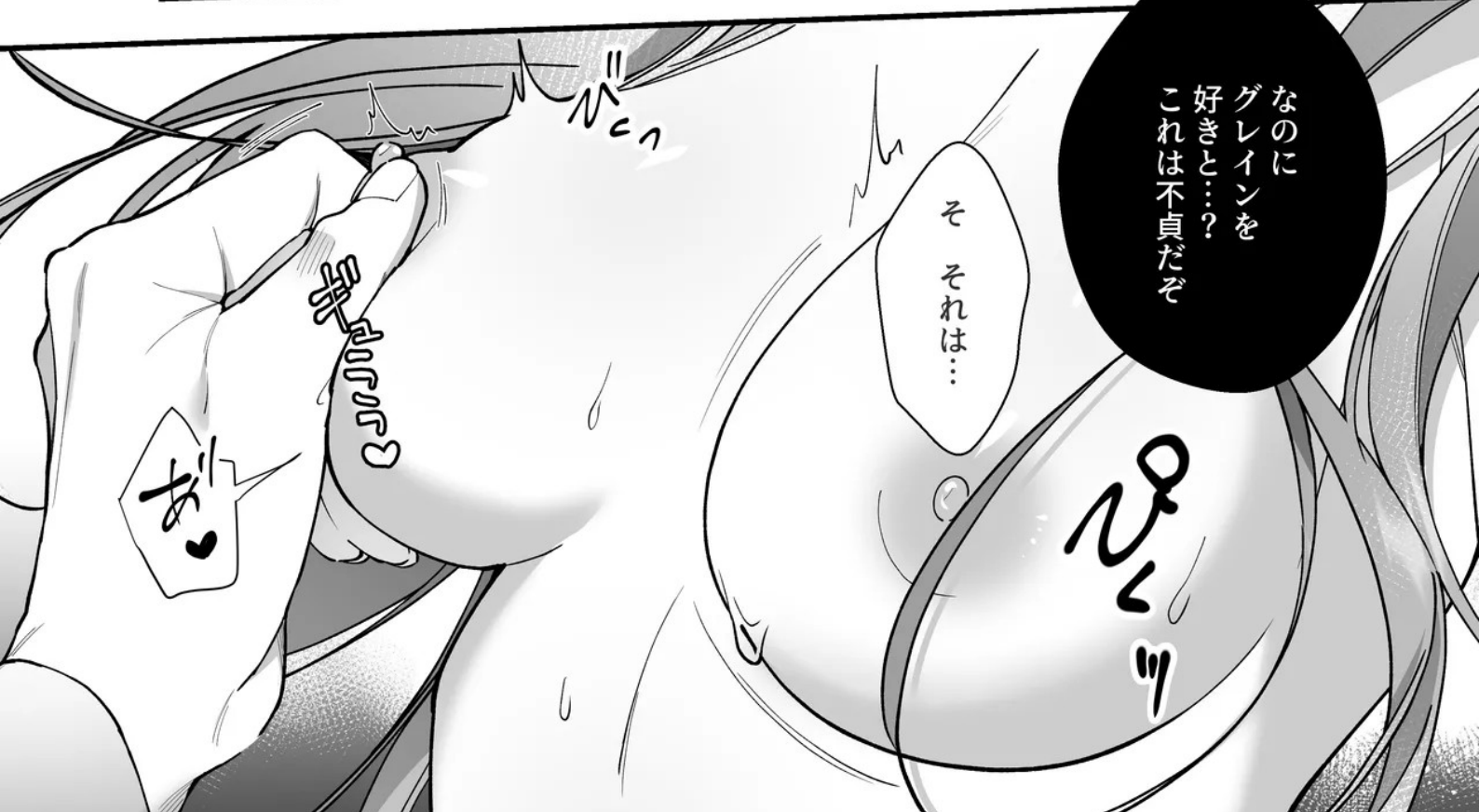
あ…

フィリスさま…!



聞き捨てならないな
ヴィオラ…

おまえは
俺の妃のはず
だろう？



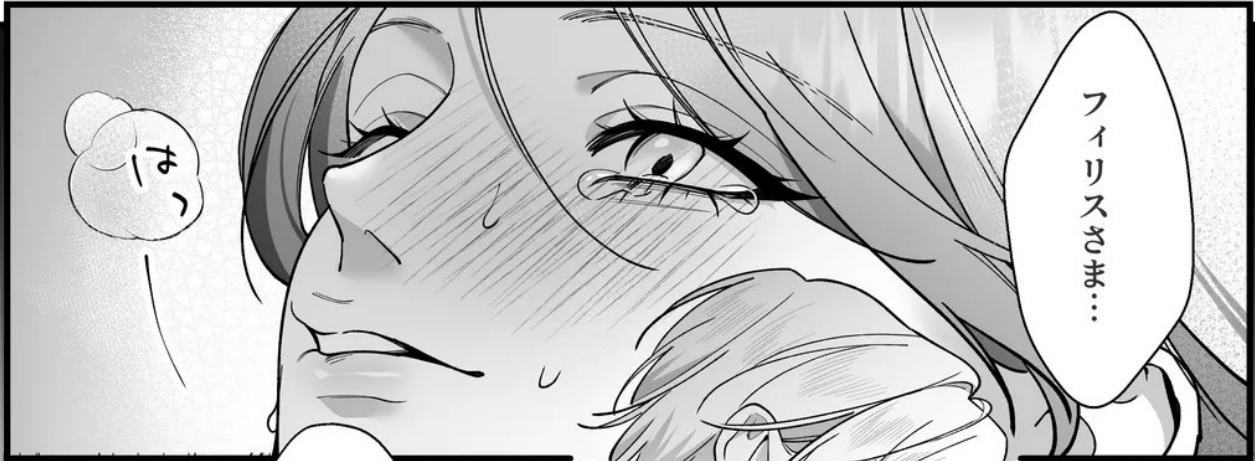
なのに
グレインを
好きと…？
これは不貞だぞ

そそれは…



彼女が身も心もおまえに囚われたとき

俺が全てを奪う



ファイリスさま...

いけない妃だ
仕置が必要だな



グチュ

あっ

あっ...

グチュ



そんなにグレインが
よかったか?



だが
そのグレインに
仕込まれたおかげで
どうだ
俺に犯され
感じていゝるでは
ないか

ああ♡
ああ♡
んああ♡



あ…



ほらグレインが
見ているぞ



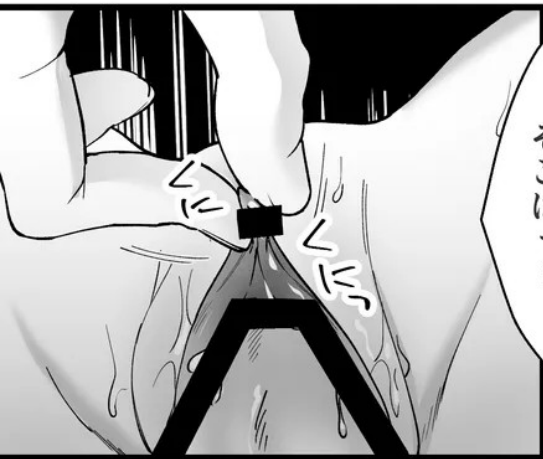
だめ…いや…
見ないでっ…
グレインっ…!!

あ…♡

嫌なのに
グレインじゃなきや
いやなのにつ…!!
なのになんで
こんなに気持ちいいのっ…!!

ん♡

はっ



あっ…だめ
そこはっ…

ほらここも
グレインに
仕込まれたんだらう？



こんなに大きくして
いやらしい妻だ



フィリスさまっ…♡
そこ弱いんですうっ…♡

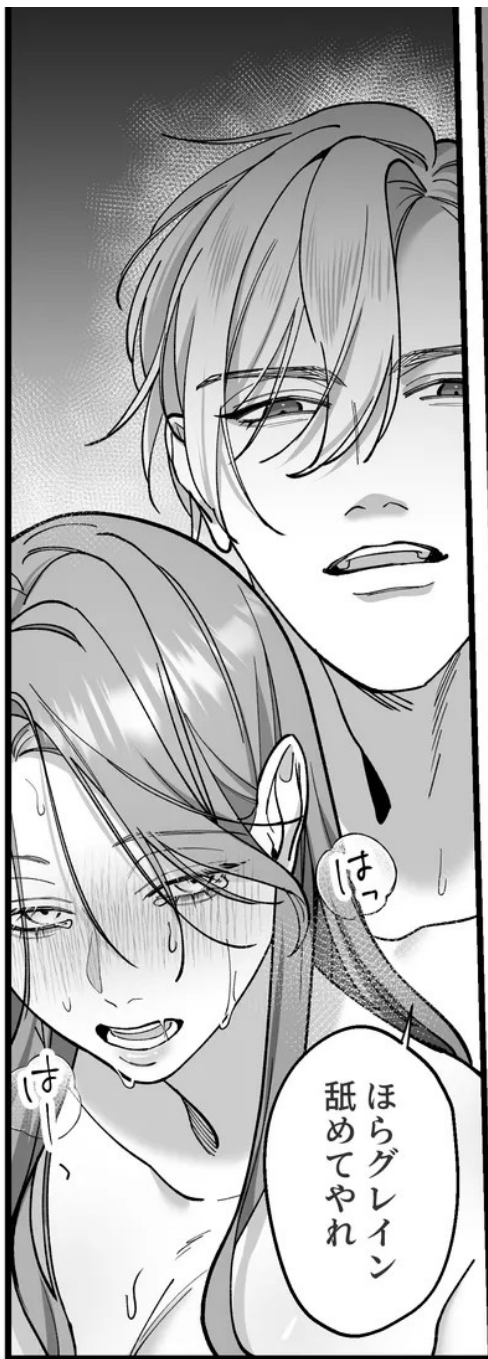


あっ♡

ビクッ♡

だめっ♡

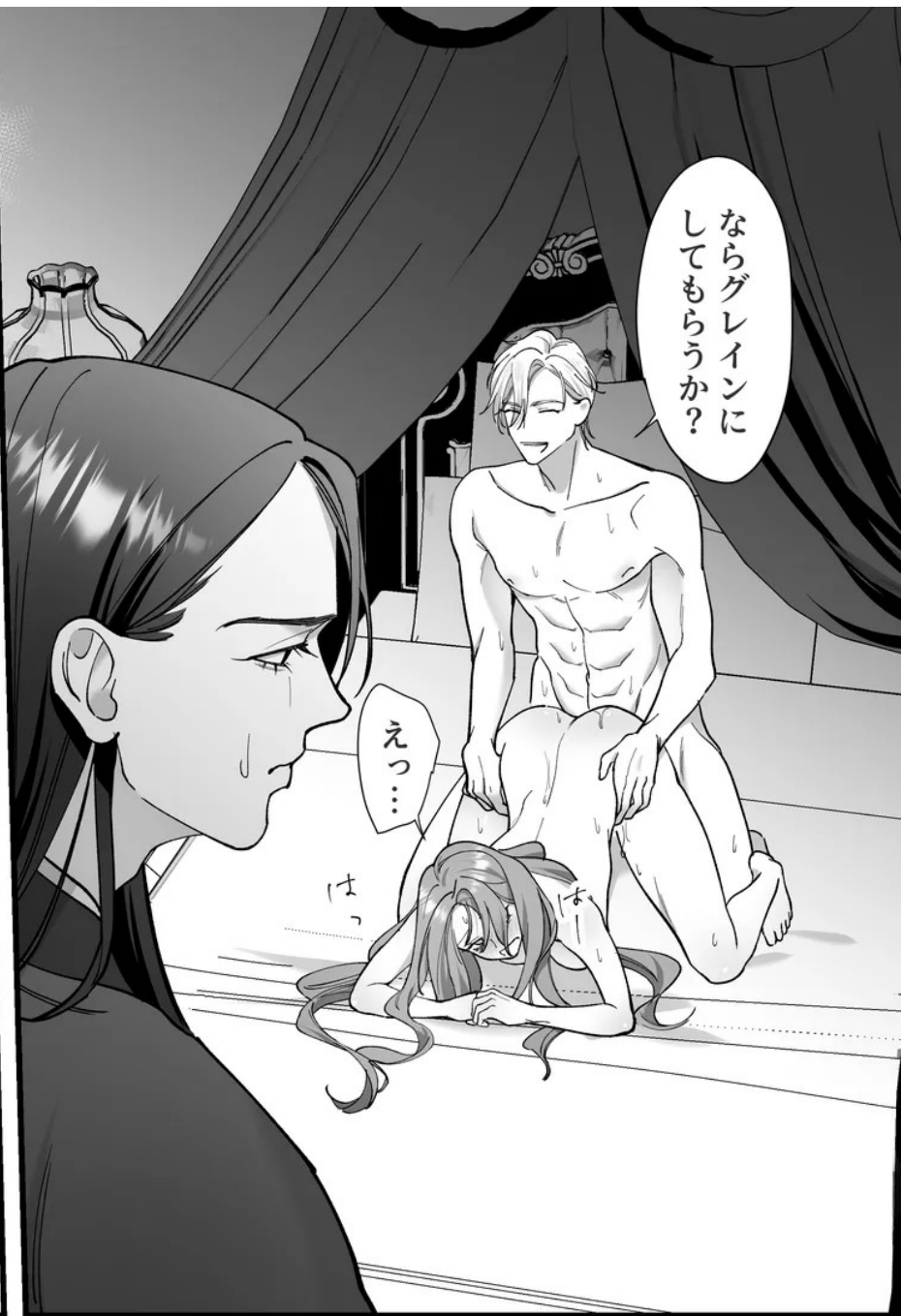
はっ



はっ

はっ

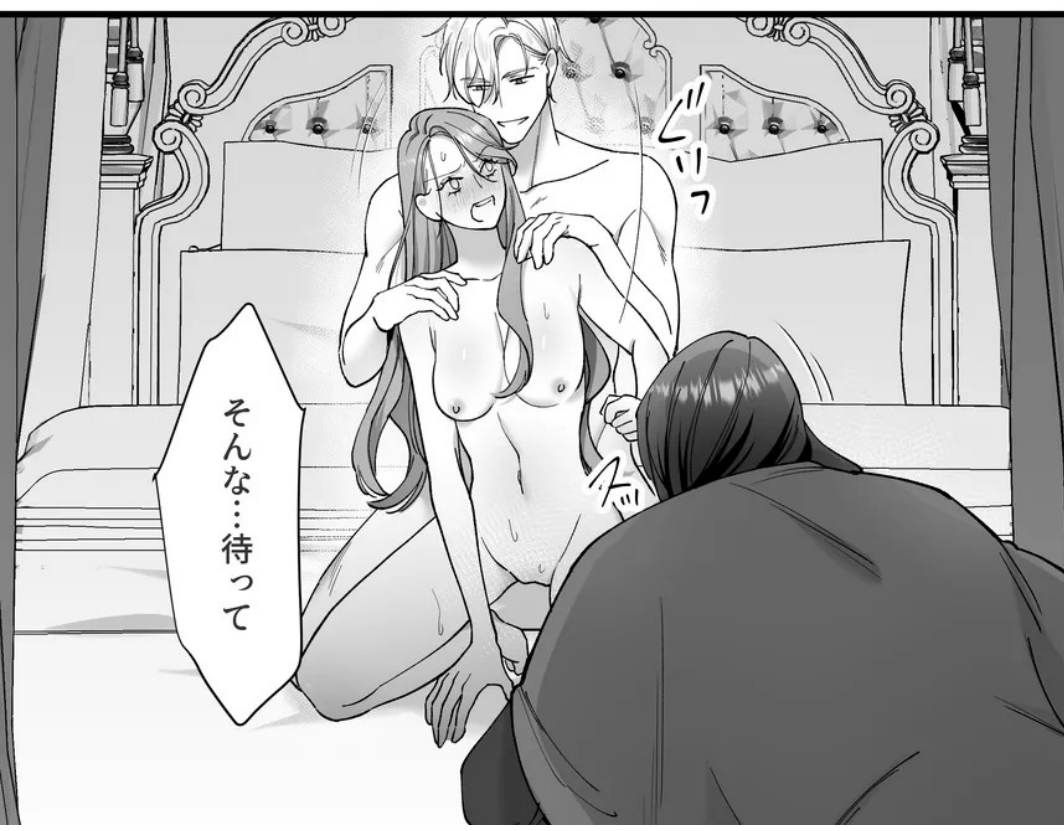
ほらグレイン
舐めてやれ



ならグレインに
してもらうか？

えっ…

はっ



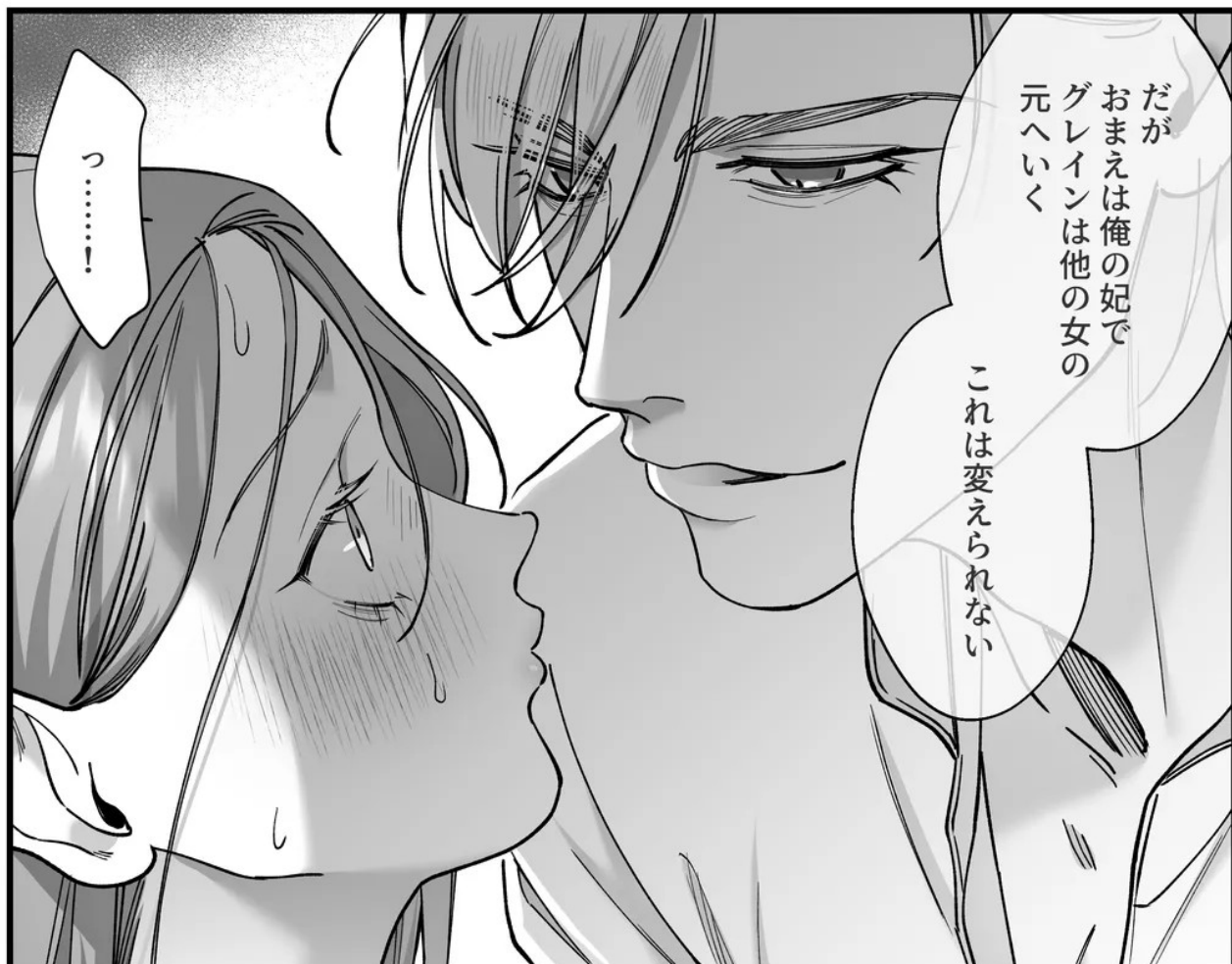
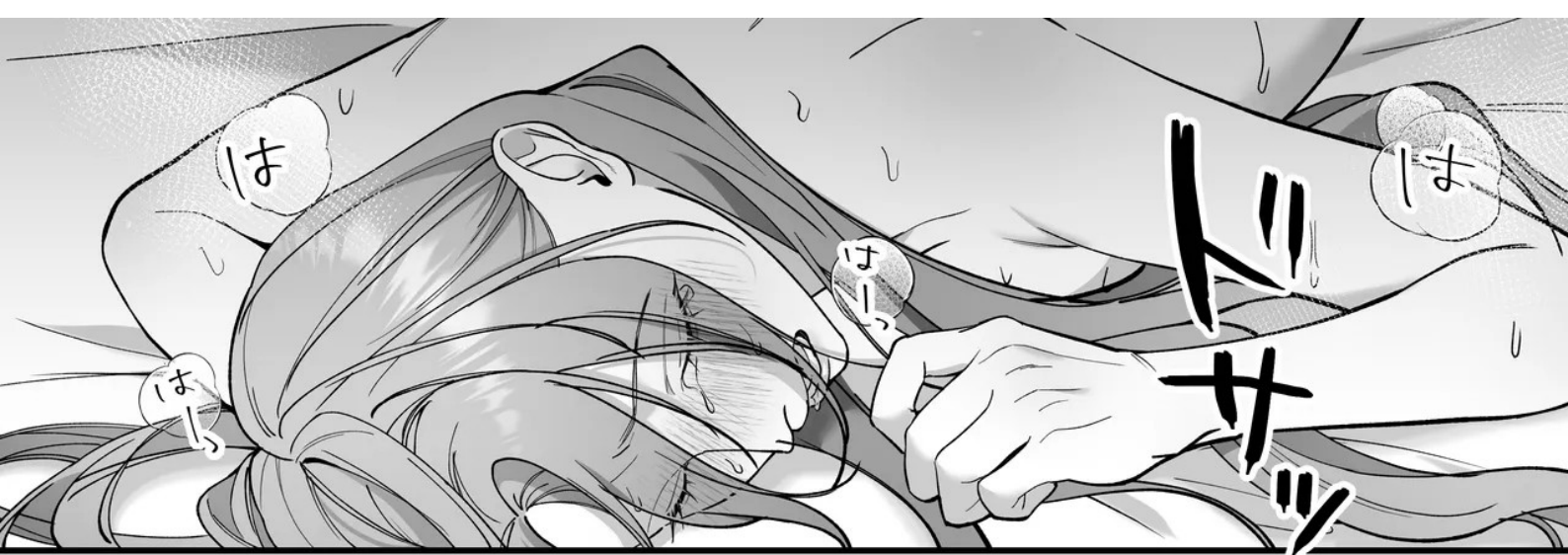
そんな…待って

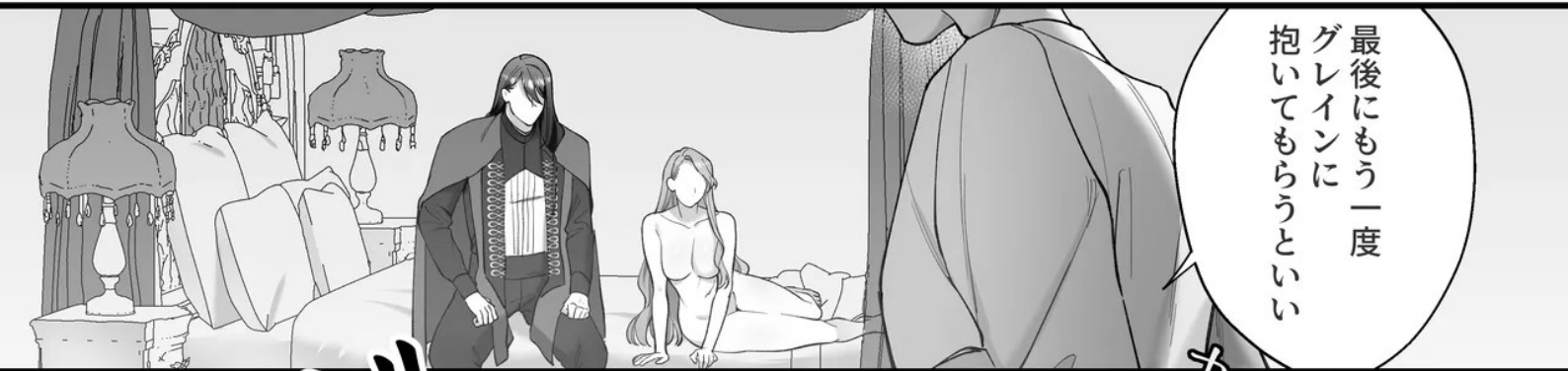
ツツ

ツツ



ツツ

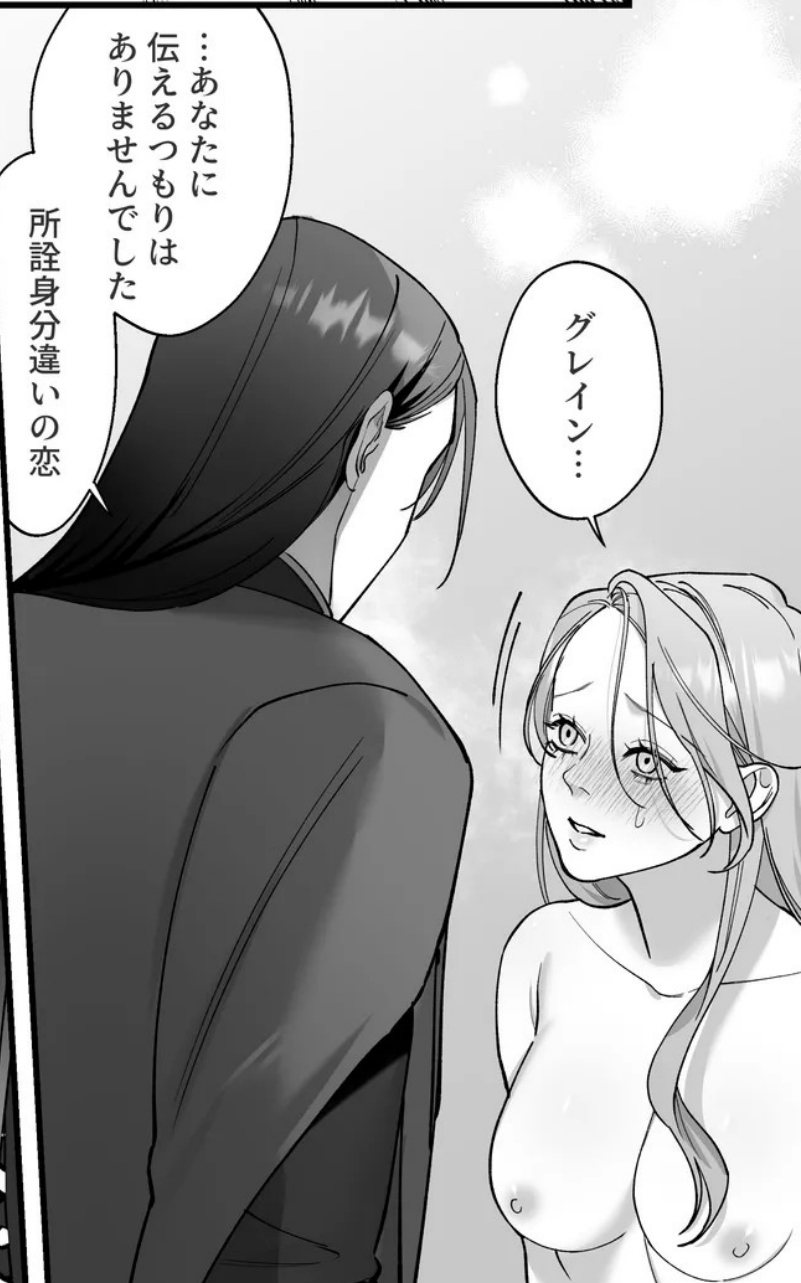




最後にもう一度
グレインに
抱いてもらうといい



でも私は…
ずっと前から
あなたをお慕いしておりました



…あなたに
伝えるつもりは
ありませんでした
所詮身分違いの恋

グレイン…



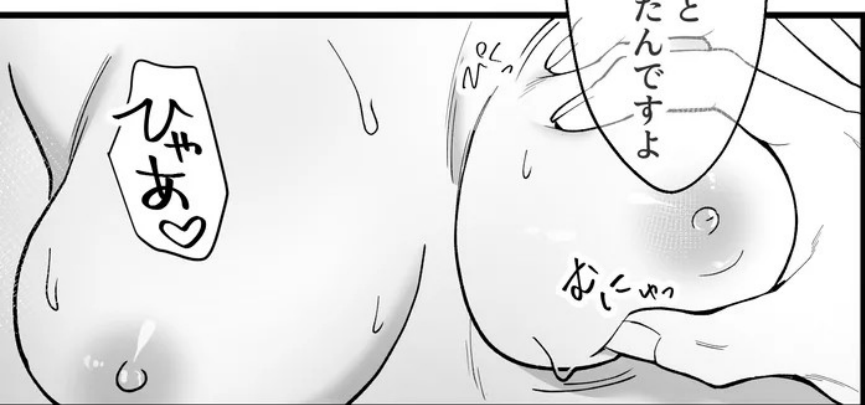
優しく甘く
蕩かすように
あなたを抱きたかった

…本当はずっと
こうしたかったんですよ



グレインっ…♡
なんでっ…
そんな…

スリー♡
スリー♡
いつもはもっと
激しいの…



ひびく♡

おにゅ



最後くらい
優しくしたいんですから
そんなに
締め付けないで
ください

そんなこと
言っちゃってえ…♡

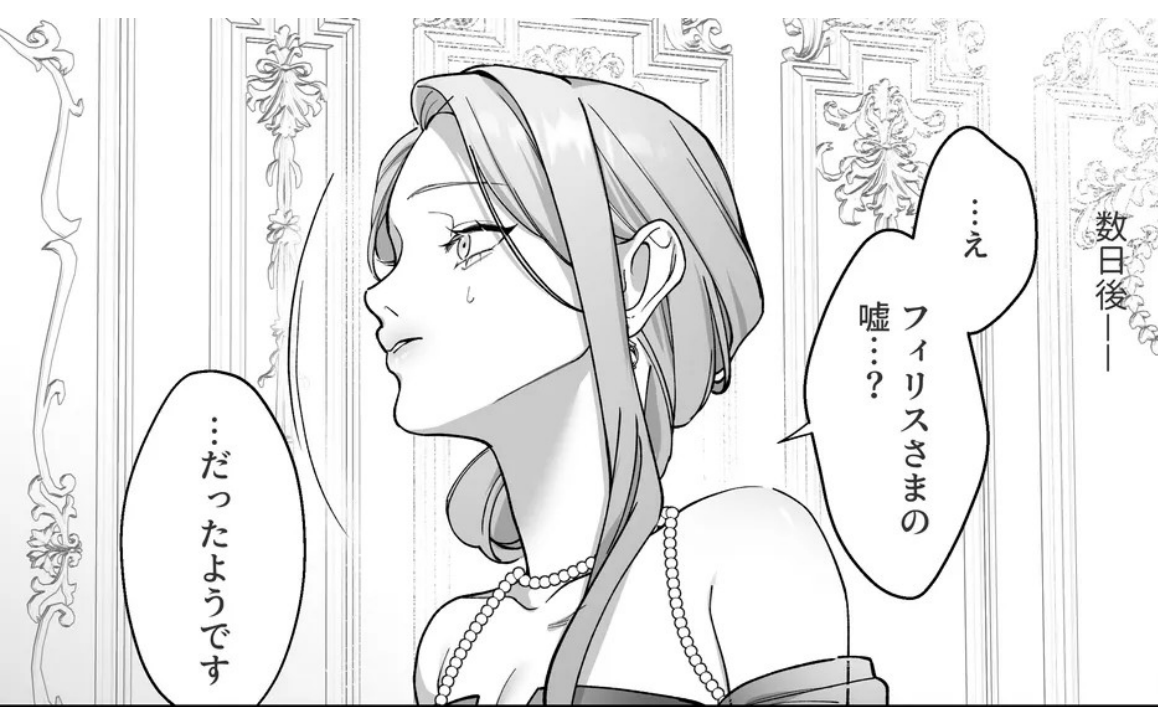
勝手に中が
きゅんきゅんして…



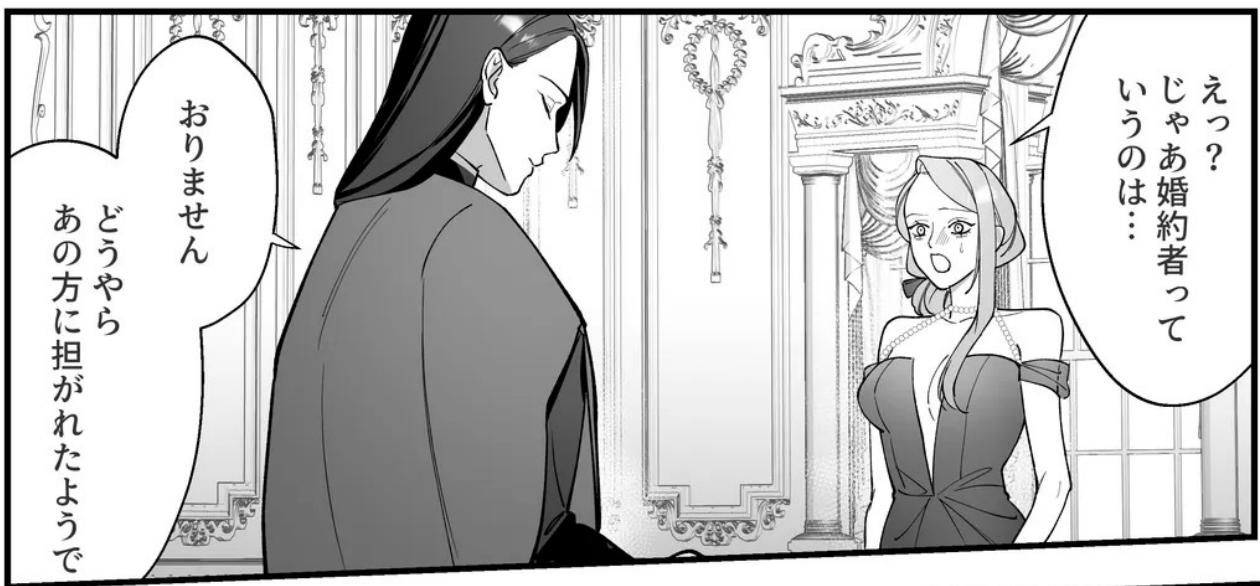
私の手で
花開いていく
あなたを
私だけのものに
したかった

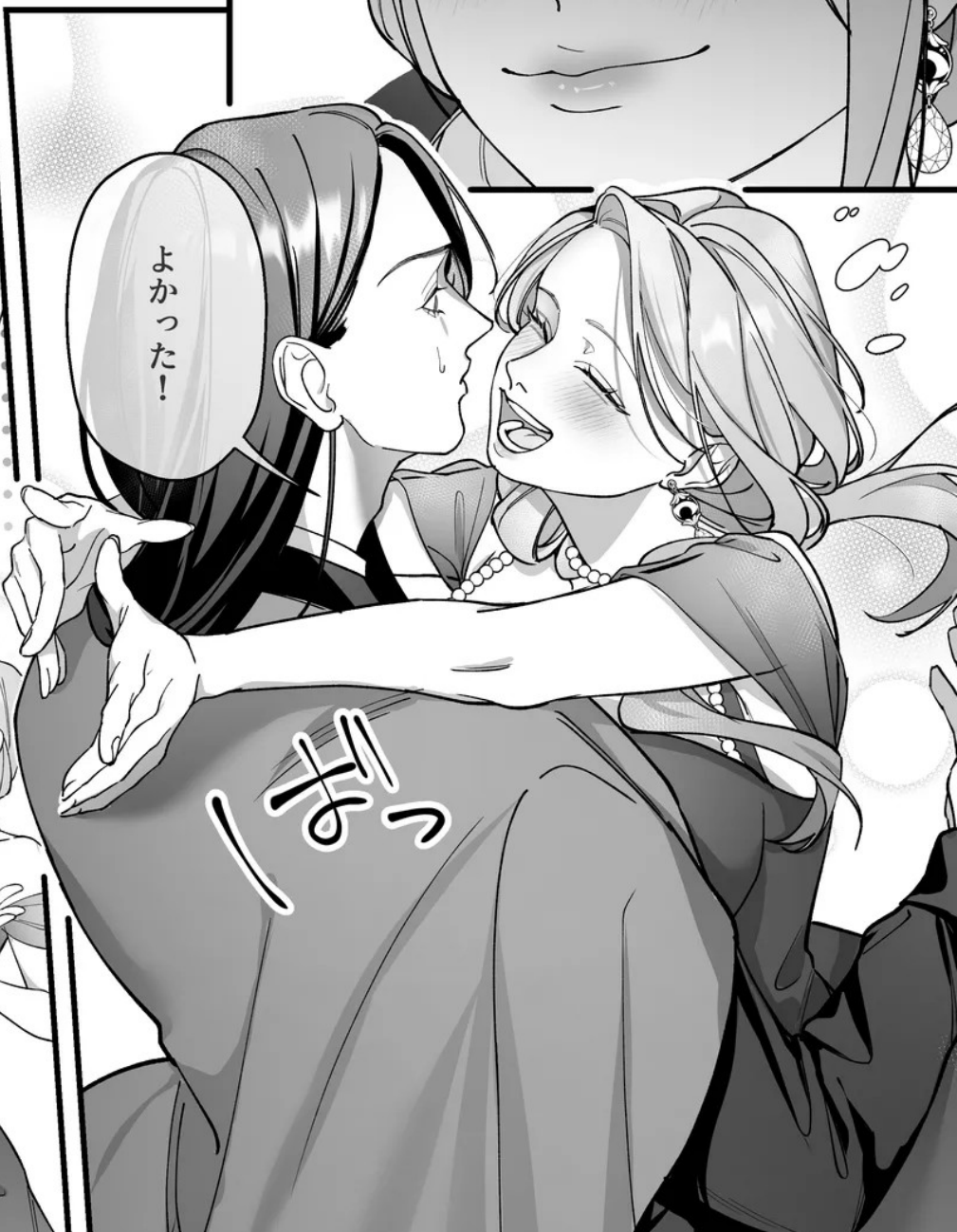
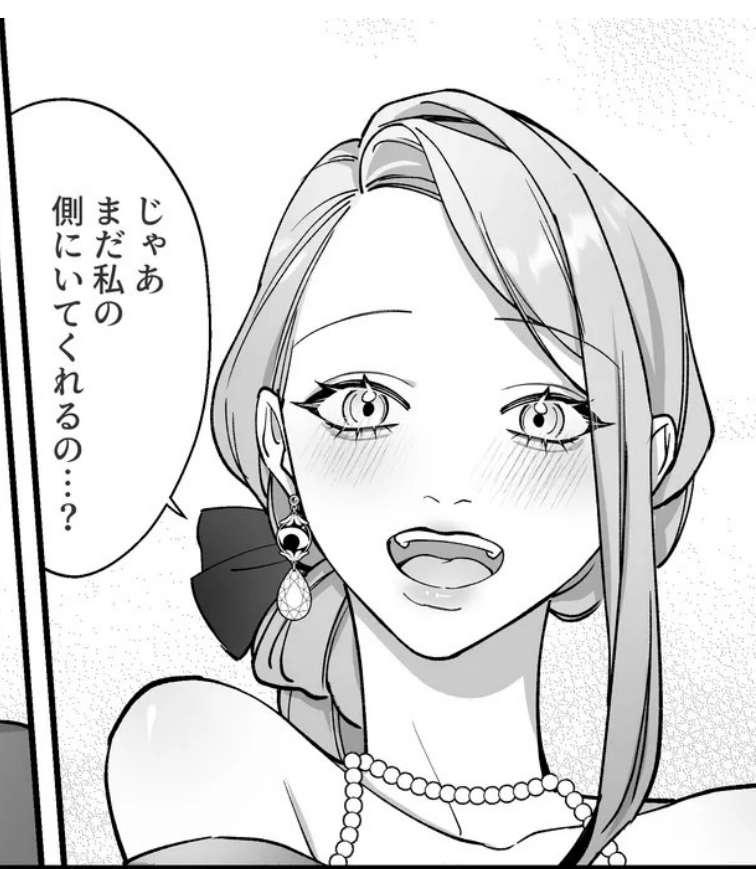
あ…♡
入ってくる…♡

あゝ♡



数日後—







…よろしいのですか？



なかなか
楽しめた
この調子で
ヴィオラを躱ける



何がだ？
おまえとヴィオラが
相思相愛の仲で
あることがか？

ありがとうグレイン
これで次は
他の男に懸想
している妻に
仕置きをする
楽しみができたよ



……

せいぜい
これからも
ヴィオラの心を
つなぎ止めておくことだ…

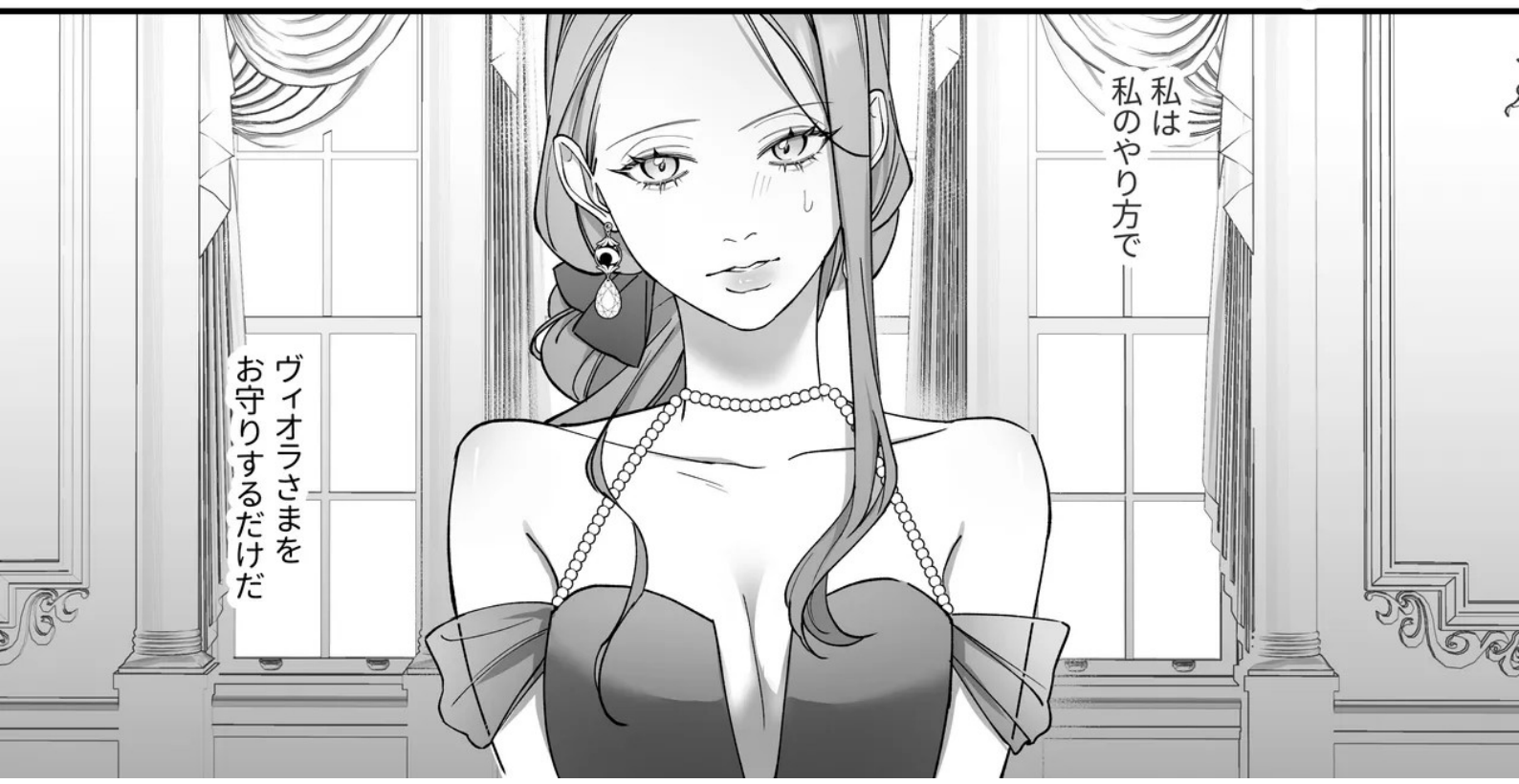


結局
あの方の遊びに
使われているだけ…

私も
ヴィオラさまも



…でも

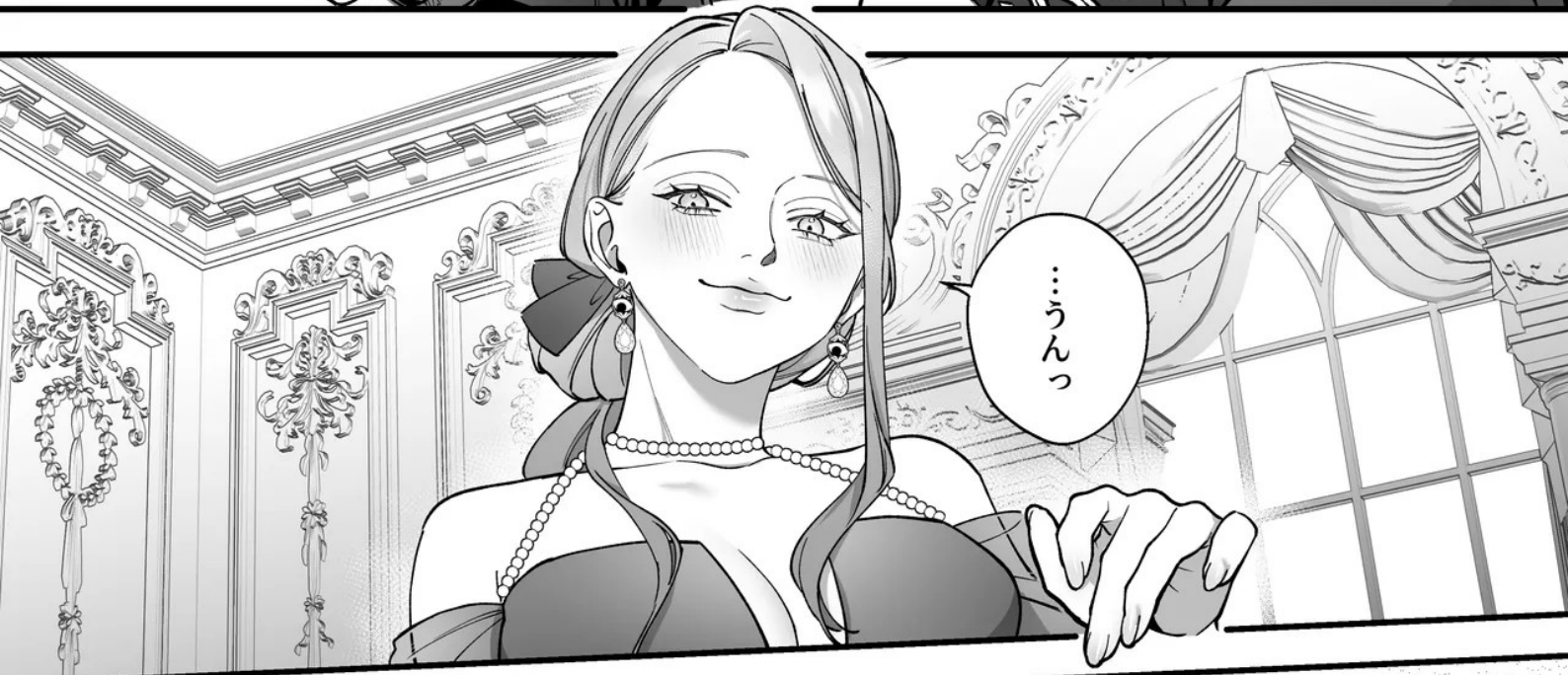


私は
私のやり方で

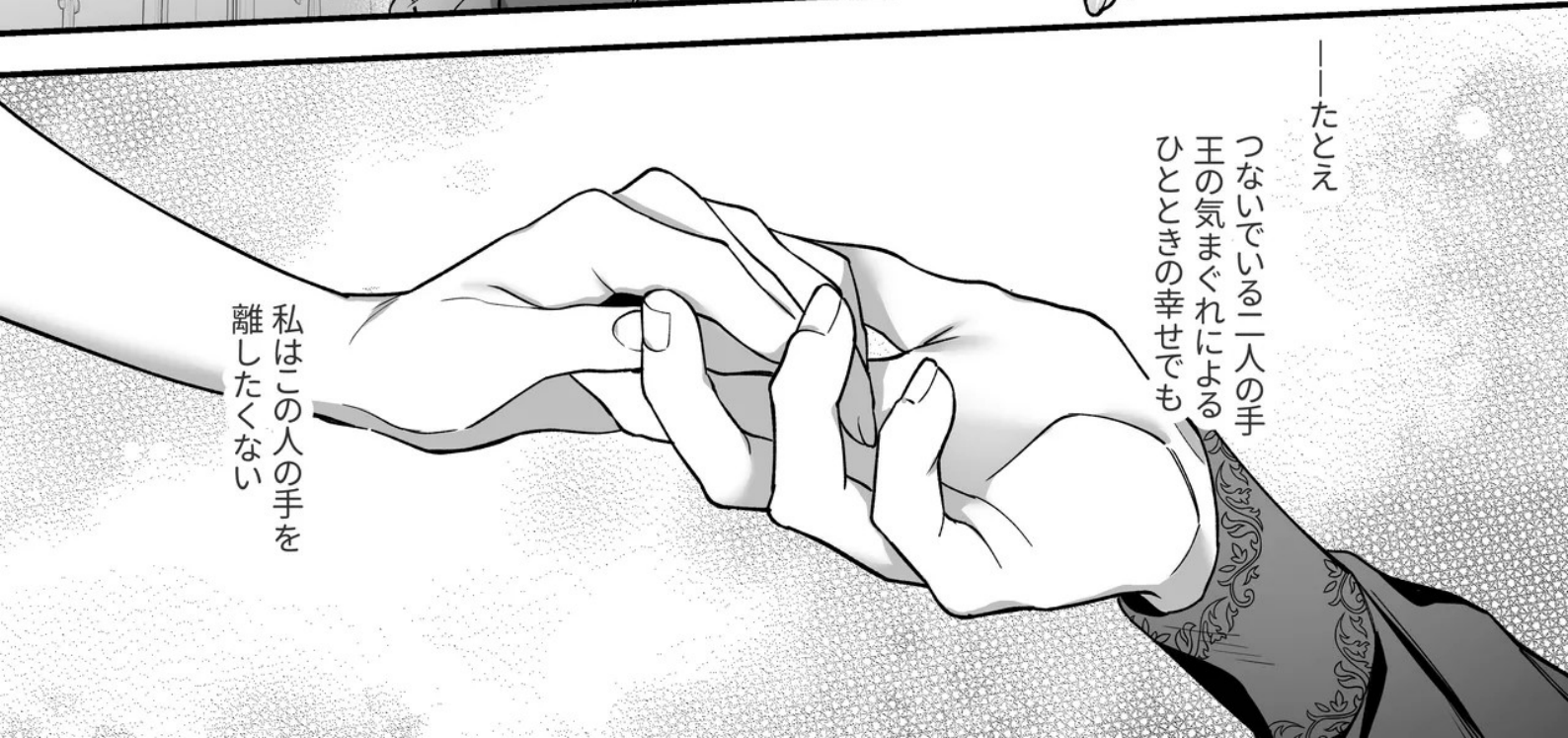
ヴィオラさまを
お守りするだけだ



…これからも私は
あなたのしつけ係です
ヴィオラさま



…うんっ



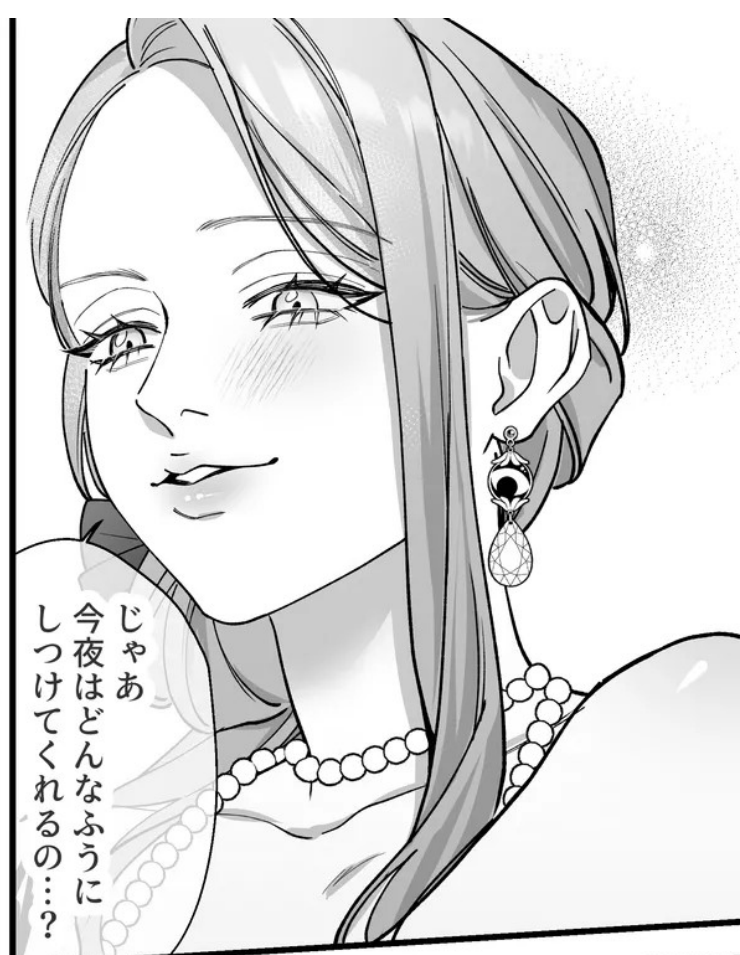
——たとえ

つないでいる二人の手
王の気まぐれによる
ひとときの幸せでも

私はこの人の手を
離したくない



おや
それはおねだりですか？



じゃあ
今夜はどんなふうにしつけてくれるの…？



これからもずっと――



おねだりの仕方は…
教えましたよね？

ちゅ



※無断転載・複製・複写は禁止しております。
※インターネット・SNSなどへの掲載も禁止しております。

発行
DARKMOON
@DarkMoon_4U

シナリオ
落合海

ネーム
槿芙蓉

作画
南天

お問い合わせ
perozu.comic@gmail.com